


筍農家、竹チップ工場、製紙工場など竹を軸にした産業連携を形成

6. 薩摩川内地域の竹林【鹿児島県薩摩川内市】

範 囲	薩摩半島の北西部に位置する、薩摩川内市・さつま町内の竹林	
所 在 地	鹿児島県薩摩川内市、さつま町	
生 物 地 理 区 分	シイ・カシ萌芽林	
環 境 要 素	その他(竹林)(), 二次林	
自然条件	地 形	熊本県白髪岳を水源とする川内川流域に川内平野が広がっており、市の周辺は 600m級の山々が囲んでいる。
	植生・生物等	鹿児島県は全国一の竹林面積(約1万6千ha)を有する。また、薩摩川内市内には、特定植物群落として蘭牟田池の湿原植生、優れた地形として長目の浜砂州など数多くの優れた自然が存在する。
		 <p>撮影時期: 薩摩川内市(「薩摩川内市観光ガイド」HPより)</p>
社会条件	人口(市町村)	99,558人(農家率12.5%、副業的兼業農家が多い) 薩摩川内市のデータ(H22年)
	土 地 利 用	市総面積の7.8%が田畑、65.9%が山林である。 薩摩川内市のデータ(H22年) 川内川流域は県内でも竹林面積の多い地域で、さつま町(旧宮之城町)は日本一の竹の産地。
	歴 史 ・ 文 化	西は東シナ海に面し、東は九州三大河川「川内川」流域沿いに広がる本地区は、早くから水陸交通の要として栄え、薩摩の中心地として発展してきた。 鹿児島県では、河川の両岸に若竹等の竹林を植栽して河川を固定する方法が普及していた。竹林は洪水時の塵芥を肥料として繁茂し、洪水の時には竹林自体が櫛の目の役目を果たして塵芥を防ぎ、その竹林自体は土砂の堆積で自然と高土手となっていった。これらのことから、昭和30年代前半までは、川内川本川や支川で、堤内側に水田のある河岸のほとんどが竹林堤防であった。
法 指 定、行 政 による 評価の状況	自然環境・景観保全や国土保全に関わる地域指定等	該当なし
	すぐれた自然、景観、伝統文化などとしての選定	該当なし

薩摩川内地域の竹林

取組主体	タイプ	企業やNPO等:NPO・企業・行政等地域の外からの参加者が中心となった取組		
	主な主体	名称	概要	
		中越パルプ工業株式会社NPO九州エコ・グリーンヘルパー・ほか	地域の竹を活用した竹紙生産を核として、原料を竹紙の原料を供給する筍農家やチップ工場、竹林整備に取り組む組合やNPO、地方自治体等の連携による「竹の産業連関」が形成され、自然環境保全や地域活性化に大きく貢献している。	
経緯	薩摩川内市内に立地する中越パルプ工業株式会社川内工場(以下、「中越パルプ川内工場」と呼ぶ。)は、放置竹林の対策に苦慮していた鹿児島県からの相談や、地元筍農家からの伐採竹を有効利用したいとの要望に応え、平成10年に竹紙の生産に着手した。地域の多様な関係者と連携することにより、「チップ工場を核とする効率的な収集体制の構築」や、「筍生産者以外の伐採・搬出者との連携による年間を通じた安定的な原料確保」などに努めている。			
支援措置	該当なし			
取組の目的・目標	竹材の製紙原料化を推進することで竹林の整備を図るとともに、竹林の多様な利活用方法を確立し、将来は放置竹林の解消による里山林の再生と生物多様性の保全を目指す。			
取組分野内容	農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化	NPO九州エコ・グリーンヘルパーは、鹿児島県森林環境税事業を活用し、薩摩川内市内での里山竹林整備を行っている。また、NPO九州エコ・グリーンヘルパーと活動内容が類似する薩摩川内竹林整備組合は平成18年から竹林改良受託業務、竹材生産業務、筍生産業務を営業項目に掲げ設立され、竹林改良などの取組を行っている。地元農家の取組としては、さつま町大長たけのこ振興会(大長たけのこ生産組合)では他会員が24名で10.92haのモウソウチク林を管理しており、早掘筍生産を行い、10月から東京築地市場に出荷している。また、同振興会の会員は、タケノコ収穫後の竹林の手入れなどの際に伐られた竹材を竹チップ業者に搬入し、業者が製紙用チップ生産している。		
	バイオマスなど新たな資源としての利用	【対象となる資源】 竹 製紙業者(中越パルプ工業)では竹材を製紙原料に使用。平成10年から地元の竹を利用した竹紙の生産を始めた。周辺のチップ工場10社と連携し、年間10,000t(生)以上の竹チップの購入を行っている。また、青果用筍や加工用筍の生産をはじめ、竹細工、竹刀、竹バット、竹炭、竹粉末などの製品が薩摩川内市やその周辺地域で生産されている。		
	環境教育や自然体験、エコツアーリズムの場としての利用	自然観察会		
		環境教育・学習活動		
		里地里山体験・環境保全	森林ボランティアグループによる竹林の整備	
		農林業体験活動		
		エコツアー		
その他				
野生動植物やその生息地の保全・管理	該当なし			
地域の良好な景観の保全・修復	竹林の伐採により、林床まで日光が差し込む健全な竹林の面積が増加している。			
里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承	対象	生活行事	【文化財指定】	
		資源利用技術		
		その他		
該当なし				
連携・協働	鹿児島県薩摩川内市周辺は全国でもまれな製紙工場 チップ工場 地元地場産業筍栽培農家および竹を総合的に利用する筍加工、竹細工、竹刀、竹バット、竹炭、竹粉末など各製造業者が集積した地域となっており、竹を軸にした産業連携が形成されている。			



撮影時期：2008年3月
タケノコ栽培農家での竹林の手入れと竹材生産



撮影時期：2008年3月
手入れされた竹林

<p>景観としての 利用・評価</p>	<p>竹紙の原料として年間 10,000t 以上の竹が伐採されることにより、林床まで日光が差し込む健全な竹林の面積が増加するとともに、隣接する森林への竹の侵入が抑制され、地域の生物多様性の向上や景観の改善などに大きく貢献している。</p>
<p>取組の特徴</p>	<p><u>里山竹林を軸に取組が展開、生産・保全・暮らしがうまく循環している。</u> 中越パルプ工業株式会社川内工場での、竹紙の生産を核とした産業連関が生み出されたことにより、筍生産農家の新たな収入源の創出、チップ工場設備の稼働率向上、竹林整備事業に伴う雇用創出などの経済効果が生まれ、地域活性化に貢献している。この取組により、環境と経済の両面から持続可能性が高い地域資源活用の取組であることが評価され、「第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト」で審査員特別賞を受賞した。 鹿児島県薩摩川内地域は製紙工場が所在することや全国有数の早堀筍栽培という特殊な地域ではあるが、他地域でも、製紙工場の周辺で展開の可能性が考えられる。</p>

【参照資料】

NPOかごしまネットHP (<http://www.npok.net/>)

九州農政局HP (<http://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>)

さつま町HP (<http://www.satsuma-net.jp/>)

国土交通省HP